宍粟 歴史再発見

宍禾郡を巡る④

～第15回～

「播磨国風土記」の世界

宍禾郡の天日槍命

国占めをする播磨の国の神、伊和大神の競争相手となったのが、天日槍命です。「古事記」「日本書紀」には新羅国の王子として登場しますが、「播磨国風土記」では神として描かれています。海を渡ってやって来た天日槍命のエピソードが残っているのは、宍禾郡だけではありません。揖保郡揖保里粒丘、神前郡多駝里の粳岡・八千軍でも、この神が活躍しています。

さて、宍粟郡では、比治里の「奪谷」は葦原志許乎命が天日槍命と奪い合った谷だといい、現在の波賀町安賀、有賀、上野あたりとされる雲箇里「波加村」は、国占めに来た伊和大神が先着していた天日槍命を見て「度らざるに先に到りしかも」と言ったことから名付けられました。そして、一宮町三方川流域にあたる御方里には、風土記の天日槍命伝承の中でもとくに興味深い話が残されています。この里の名は、葦原志許乎命と天日槍命とがある方法で国占め争いしたことから生まれました。

二人の神は神前郡の「志爾嵩」に登り、黒葛（ツヅラ）を足に付けて投げることを3度繰り返したそうです。ツヅラの落ちた場所を領土とする、一種の神占いといえるでしょう。天日槍命のツヅラは、3本とも但馬の国に落ちました。そこで、天日槍命は但馬の出石に落ち着いたとか。但馬国の一宮である出石神社は、この神をまつっています。

一方、葦原志許乎命のツヅラは一本目が但馬の気多郡（旧城崎郡南部）に、2本目が養父郡に、3本目がこの地に落ちた。そのため、「三條」と名付けたそうです。また、大神（伊和大神と考えられる）が国占めの印に杖を立てたため「御形」という、別の地名由来も添えられています。

御方里に鎮座する式内社・御形神社。葦原志許男神をまつる同社の由緒にもこの物語が語られていますが、社地の森厳さに風土記の世界を感じずにはいられません。

（播磨学研究所研究員　埴岡真弓）

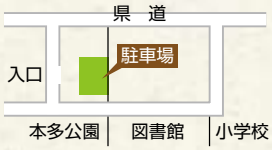
▲御形神社本殿（国・重要文化財）

おいでよ図書館へ

宍粟市立図書館 ☎ 62-4620

駐車場のごあんない

交通安全に留意して
お越しください。



今月のオススメ

森ではたらく！27人の27の仕事

著者／古川大輔・山崎亮

森を挽く人、森で採る人、森で作る人、森を書く人…様々な方面で働く森人たちの、多彩でクリエイティブな仕事を紹介。森の魅力や可能性が感じられる一冊です。

おいしい新調味料 塩レモン・塩ゆずレシピ

著者／高橋　雅子

レモン・柚子を塩に漬けておくだけでできる常備調味料。

使い方も簡単で、漬けておいた皮や果汁を料理に加えるだけ！どんな素材にも合う、さっぱりおいしいレシピ集です。

図書館カレンダー

□休館日 □館内整理日（休館）

［開館時間］午前10時～午後5時30分

【8月】

日	月	火	水	木	金	土
・	・	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	・	・	・	・	・	・

【9月】

日	月	火	水	木	金	土
・	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	・	・	・	・

編集後記

全国で「ふるさと納税」をされる方が増えているとマスコミなどで話題となっていますが、宍粟市を応援したいと宍粟市への「ふるさと納税」も増えています。また、宍粟市では「ふるさと市民」も募集しています。今月号でもお知らせしていますが、市外在住の方ならどなたでもご登録いただけます。また、知人、友人、ご親せきなどを「ふるさと市民」に推薦いただくこともできます。

宍粟市に関心をもっていただいている方、宍粟市を応援していただける方、宍粟市と絆を結ぶ「ふるさと市民」にぜひご登録ください。毎月『広報しそう』やイベント情報などをお届けします。よろしくお願いいたします。 石

広報しそう 8月号　平成26年8月12日発行（113号）
発行／宍粟市役所　編集／企画総務部秘書広報課
〒671-2593 兵庫県宍粟市山崎町中広瀬 133-6
☎0790-63-3000(代) info@city.shiso.lg.jp http://www.city.shiso.lg.jp

VEGETABLE OIL INK
この広報紙は環境保護のため、植物油インキと古紙再生紙を使用しています。